

# 将来のストック効果が見える！

～「生産性革命 by インフラ 第4次重点計画」パネル～

国土交通省では、将来のインフラ整備によってもたらされる多様なストック効果をわかりやすく伝えるため、インフラのストック効果を紹介するパネルを作成。

地方ブロックごとの主要なインフラ整備について、時間軸を明確化し、可能な範囲で完成時期を記載した「地方ブロックにおける社会資本整備重点計画」を平成28年3月に策定しました。

今後、本計画のもと、インフラのストック効果を最大限発揮させるべく、地域の特性に応じ、重点的、効率的に社会資本整備を進めていく必要があります。

また、国土交通省では平成28年を「生産性革命元年」とし、生産性の向上、生活の質の向上、安全・安心の確保を目指した戦略的インフラマネジメントを推進しています。

この度、将来のインフラ整備によってもたらされる生産性の向上等の多様なストック効果をわかりやすく伝えるため、パネルを作成しました。

県名	タイトル	主要事業	本省展示
鳥取県	日本有数の芝生産地での生産面積拡大を支援	山陰道	○
鳥取県 島根県	日本海側国内海上輸送のミッシングリンクを解消！物流効率化で地域産業を支える	境港ふ頭再編改良事業	
島根県	木質バイオマスの活用を通じ、地域振興を支援！	山陰道	○
島根県	よみがえる湿地 ～人と自然の共存へ～	中海・宍道湖浄化事業	
岡山県	アクセス向上による産業競争力強化	水島港玉島地区国際物流ターミナル・臨港道路整備事業	○
岡山県	安全安心な都市づくりで地域経済の活性化を支援	旭川河川改修事業	
広島県	土砂災害に対するリスクを低減し地域の発展に寄与	広島西部山系直轄特定緊急砂防事業	
広島県	自動車産業のサプライチェーンを支える！	東広島バイパス 安芸バイパス	○
山口県	ゲートウェイ機能の強化！ エネルギーの安定的かつ安価な輸入の実現	徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	



山陰道

# 日本有数の芝生産地での生産面積拡大を支援

現在 now



将来 future

インフラ



渋滞する国道9号の現道

生産地から主な消費地への  
**アクセス向上**  
(高速ネットワーク延伸)



写真は既開通区間

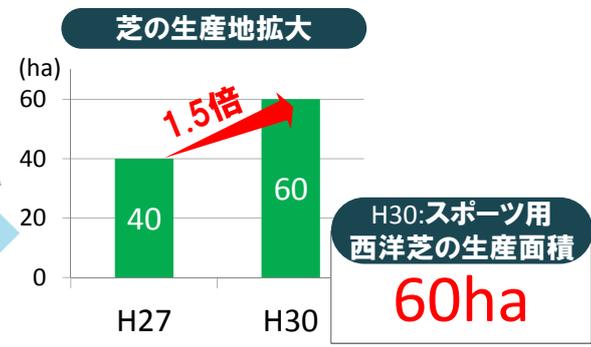
平成29年度 開通予定

地域



H27:スポーツ用  
西洋芝の生産面積  
**40ha**

〈生産企業の声〉  
鳥取西道路の開通で、迅速な輸送が実現すれば、今以上に高品質な芝生の納品ができ、**売上げ向上や販路拡大が期待**できます。



平成30年 生産計画

「芝生」の生産で全国有数の企業が、鳥取県内の砂丘地荒廃農地等を活用し、生産能力を拡大中。

山陰道・鳥取自動車道の開通により、輸送時間が短縮でき、高品質の芝生の納品が可能。

山陰道の開通にあわせ、H30までの3年間で1.5倍となる60haまで生産地を拡大。





境港ふ頭再編改良事業

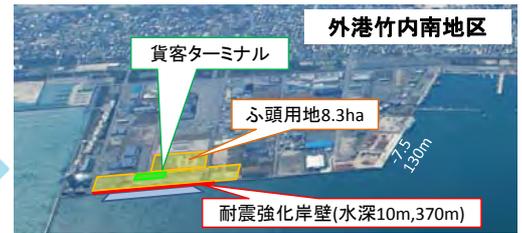
日本海側国内海上輸送のミッシングリンクを解消！  
物流効率化で地域産業を支える

現在 now

将来 future



港全体の機能再編・集約  
大型船対応岸壁の整備  
貨客船ターミナルの整備



- ・港全体の機能を再編
- ・内貿RORO船、国際フェリー等の機能を集約  
⇒ 複合一貫輸送ターミナル整備

平成31年度 完成予定

- ・既存岸壁が老朽化  
⇒ 使用されていない施設が多い
- ・船舶が大型化  
⇒ 既存岸壁の水深不足のため喫水調整や滞船が発生



九州～境港～北海道の  
連続かつ安定した  
国内海上輸送網の構築

〈企業の声〉  
現在は太平洋ルートを使っているが、陸送距離が長くコストがかかっている。新規RORO船に期待している  
現在のターミナルは狭く、陸上の港湾荷役車両や境水道を航行する漁船と輻輳して危ない。広くて安全なターミナルが確保できれば乗客の増加が見込める



物流ルートの強化

新規RORO船の就航により輸送効率が向上し、輸送コストや輸送時間の削減効果が期待できるとともにトラックドライバー不足にも対応できる。

宍道湖・大山等の背後圏の産業競争力強化を図るため、地元の産学金官が連携してトライアル輸送を実施する等物流環境改善を図り定期航路化を目指す取組を実施。

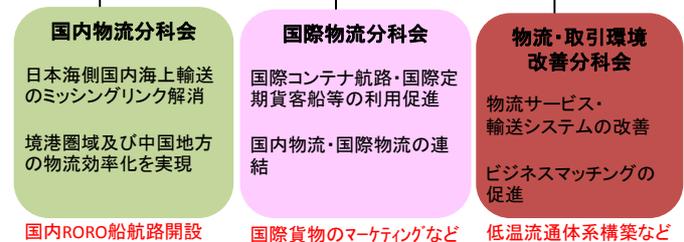
国内海上輸送航路のミッシングリンクの解消や物流効率化などにより、地域産業の発展や地域の活性化に寄与。

老朽化岸壁の不荷役化に合わせて内貿RORO船や国際フェリーに対応した貨客船ターミナルの整備を行うことで港湾機能の集約化を図り、新たな定期航路や外航クルーズ船の需要に応える。

境港プラットフォーム協議会

中海・宍道湖・大山圏域の大学、経済団体、物流企業、金融機関、行政などで構成

産学金官連携による  
港湾物流の  
マネジメント



国内RORO船航路開設

国際貨物のマーケティングなど

低温流通体系構築など

山陰道

# 木質バイオマスの活用を通じ、地域振興を支援！

現在 now

将来 future

インフラ



山陰道の整備  
(ネットワーク化)



平成28年度 完成予定

地域



### 〈自治体の声〉

山陰道のネットワーク化を見据え、分譲率が8割に上昇。更なる進出需要もあり、追加造成を予定。



平成29年度追加造成予定

H29年度から工業団地の面積を約2倍に造成予定

木質バイオマスとして国内最大級の発電量を誇る発電所がH27に立地。

山陰道の開通により、ヤシ殻や県内産間伐材を利用した燃料チップ製造工場から材料を搬入することが容易となり、県内全域の林業活性化に寄与。

江津工業団地の面積をH29年度から約2倍に造成予定であり、地域産業活性化を目指す。



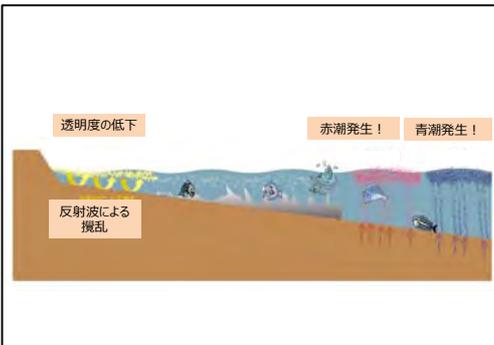
# 中海・宍道湖浄化事業

## よみがえる湿地～人と自然の共存へ～

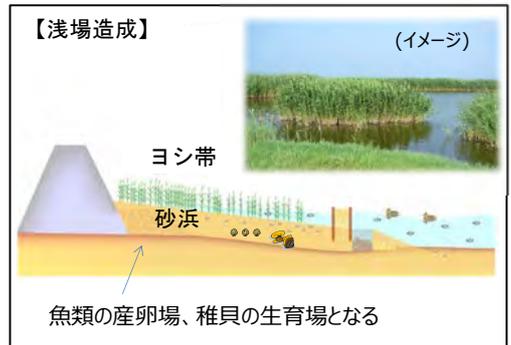
現在 now

将来 future

インフラ



沿岸域における生物の生息・生育可能な環境を再生し、湖の自然浄化機能を回復させる。



平成32年 完成予定

地域



沿岸域の景観が改善され、良好な水辺環境が形成される。



整備後

近づきたくなる水辺へ

●人工湖岸前面の沿岸部において、失われたかつての良好な湖沼環境の再生を目指す。約27haの浅場を再生予定。

●浅場によって動植物の生育基盤ができ、植物(アマモ、コアマモ、ヨシなど)が繁茂することで、自然浄化機能が回復。水質が改善される。

●宍道湖名物！シジミ漁獲量全国首位キープに寄与する。

●浅場造成により、沿岸波浪の影響が減り、底質の巻き上げを抑制。透明度が向上し、人々が集う水辺へ。



●自然を活かした観光地に！





# 水島港玉島地区国際物流ターミナル・臨港道路整備事業 アクセス向上による産業競争力強化

現在 now

将来 future



玉島ハーバーアイランドまでの  
アクセス向上  
(臨港道路整備)



平成29年  
完成予定



水玉ブリッジラインの混雑状況



### 【物流企業の声】

- ・水玉ブリッジラインが無料化になり、渋滞がひどく物流に影響が出ている。
- ・また、上流の橋は、車幅が狭く大型トレーラーが通行しにくい。
- ・臨港道路が完成すれば玉島地区への物流が非常に良くなる。早期完成をお願いしたい。

### <自動車交通の円滑化>

水島地区で生産された工業製品を玉島地区に輸送する場合

輸送距離  
**2.5km**  
短縮

輸送時間  
**約28%**  
短縮

自動車交通の円滑化による費用効果  
**年間46億円**

平成14年から玉島ハーバーアイランドでのコンテナターミナルの供用を開始

供用後5年間で、水島港のコンテナ取扱量が約1.3倍に増加

大型プロペラ製造工場の進出など、これまでに400億円以上の設備投資が行われ、新たな設備投資や雇用を誘発

臨港道路の供用により、さらなる輸送効率化が実現

### 玉島ハーバーアイランドへの企業立地



新規立地企業  
**22社**  
(H27.5時点)

企業の設備投資額  
**400億円**  
以上

雇用者数  
**400人**  
以上



# 安全安心な都市づくりで地域経済の活性化を支援

現在 now



将来 future

インフラ

高潮堤防整備区間  
想定高潮冠差浸水深図  
堤防整備前

ゼロメートル地帯が広がる岡山平野を高潮被害・津波から守る高潮堤防+耐震対策を実施



将来 future

高潮堤防整備区間  
高潮堤防整備後

平成30年代前半 完成予定

地域

平成16年には高潮による浸水被害が発生

■地元の声(岡山市長)  
「晴れの国」岡山と言われるが、岡山市は過去5年間の政令指定都市での水害被害額は5番目である。堤防の完成による岡山市街地の安全度向上は、企業や大規模小売店舗の誘致、人口増につながっている。地域は早期の完成を待ち望んでいる。

平成27年には旭川の右岸側で高潮堤防と耐震対策が完了

新規誘致の大型物流センター  
(延べ床面積約4万2千m<sup>2</sup>、鉄骨2階建て)が平成28年秋には稼働予定

対策の効果

- 高潮による浸水被害防止ならびに南海トラフ巨大地震に備え高潮堤防ならびに堤防の耐震対策を推進中
- 「活断層が存在しない都市」という地域の特徴と相まって「安全・安心」な都市としての岡山市の認知度が向上
- 岡山市の強みを活かし平成31年までに33件の企業立地を目標とし、安定した雇用と活力を創出



# 広島西部山系直轄特定緊急砂防事業



土砂災害に対するリスクを低減し  
地域の発展に寄与

現在 now



将来 future

インフラ



土石流からの被害を防止するため  
砂防堰堤を整備



砂防堰堤を整備

平成31年 完成予定

地域



JR可部線、  
旧国道  
被害状況

土砂災害から人命や資産、  
主要交通網を保全



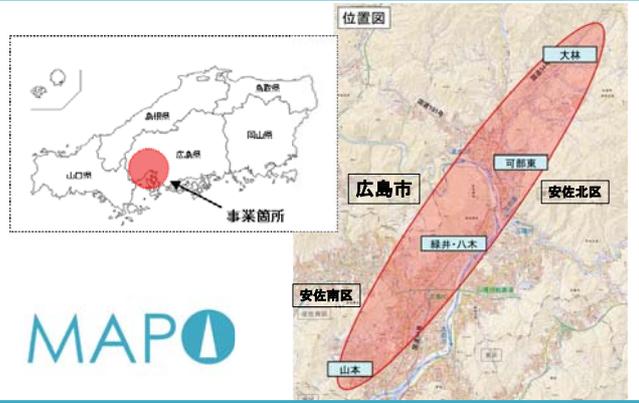
人命・資産  
主要交通網を保全

土石流による  
被害状況



水路

- 砂防堰堤等を集中的に整備し、28溪流の整備が完了。
- 砂防堰堤の整備により、土砂災害による被害を防止し、土石流から人命や資産、主要交通網(鉄道・道路等)を保全することで地域の発展に寄与。



# 東広島バイパス・安芸バイパス



## 自動車産業のサプライチェーンを支える！

現在 now



将来 future

インフラ

### 国道2号の渋滞



### 生産拠点からの アクセシビリティ向上！

#### 〈企業の声〉

バイパス整備で、輸送時間が短縮され、**運送コストの削減が可能**となり、**受注拡大**や**新たな製品開発**など**企業の発展**につながる。

### 時間短縮！ 定時性向上！



写真は既開通区間

H30  
年代前半  
完成  
予定

地域



H17:産業団地  
企業立地数

## 約150件

H30年代前半までに  
1.3倍を目標。

### 新規産業団地



H30年代前半:産業団地  
企業立地数予定

## 約200件

H30  
年代前半  
操業  
予定

東広島バイパス・安芸バイパスの開通に向けて新たな産業団地を整備中。

バイパス開通により、企業は安定した部品供給ができ、納入遅延など生産ロスが低減。

平成30年代前半に産業団地の企業立地件数約200件（1.3倍）を目標。



# 徳山下松港

## 徳山下松港国際物流ターミナル整備事業

生産性革命  
by インフラ  
第4次重点計画



### ゲートウェイ機能の強化！ エネルギーの安定的かつ安価な輸入の実現

現在 now



将来 future

インフラ



石炭取り扱い岸壁の延伸および航路・泊地の拡幅

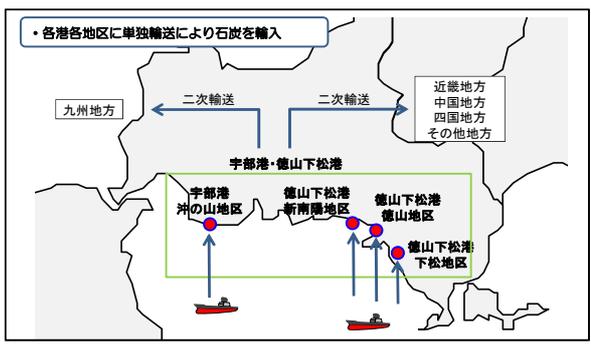


岸壁の延伸により船の大型化に対応



平成31年完成予定

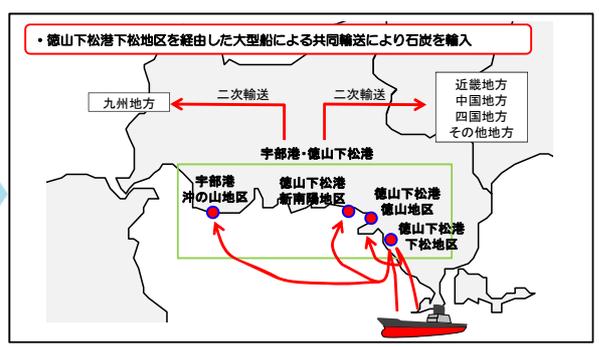
石炭輸送



石炭の輸送コストを年間約24億円削減



企業間の連携による大型石炭船の活用



効率的な輸送体系

徳山下松港・宇部港周辺には化学メーカーが集積し、化学コンビナートを形成

化学コンビナートでは主に、石炭火力で発電した電力で基礎素材を生産

西日本の石炭輸入拠点である徳山下松港で積み替えて西日本全域に配送

岸壁等の施設を整備することで、より大型の船舶での石炭輸入が可能となり、石炭の輸送コストを削減

徳山下松港及び宇部港の石炭輸入量

